

た。また飼育でもジュズダマを使うと幼虫期間が一番短く、飼育もスムーズだった。

おわりに

これらの観察が終わりに近づいた11月初旬に、突然「沼の林床」が埋め立てられて姿を消してしまった。昨年、近くの農夫に、この池はもはや「ため池」としての機能を果たしていないので、いずれは埋め立てられると聞いていた。筆者にとっては大打撃である。クロノマチョウの観察に最適の場所だったからである。

(たにがわ だいかい)

イッシキガガンボモドキの♂を採集

登日邦明⁵

筆者は先に本種 (*B. issiki*) の採集記録を発表したが (本誌 No.39), いずれも♀の個体であった。

その後本年 (95)7月8日に、津名町大町畑 (Tsunami Omachi Hata) で灯火に飛来した♂の個体を採集し、上付器先端の形態から本種に間違いのないと思われるので記録しておきたい。標本は NSI に保管されている。

(とび くにあき)

編集後記

- ▽ 95年度の1号目をお届けします。春先に発行する予定でしたが、1月17日の兵庫県南部大地震で編集者の家屋や施設もかなりの被害を受け、1部解体修理を余儀なくされたこともあり、大幅に遅れてしまいました。
- ▽ 本年度の会費も2000円です。同封の振替用紙で早めにお願ひします。次号は年末に発行の予定です。 (TB)

PARNASSIUS No.42

1995年7月21日印刷 1995年7月27日発行
編集者 登日邦明 発行所 淡路昆虫研究会
〒656-21 兵庫県津名郡津名町大町畑235
郵便振替 01170-3-49591

印刷所 れいめい社

〒656 兵庫県洲本市本町5丁目1-24

5. 〒656-21 兵庫県津名郡津名町大町畑235